

西神中だより

2022年 3月 352号
神戸市立西神中学校
神戸市西区竹の台5丁目21
TEL078-992-2700
https://www.kobe-c.ed.jp/_edit/sis-ms

巡りくる季節「春」

教頭 財田 和 雄

古草にうす日たゆたふ土筆かな / 芥川龍之介

一鷹を生む山風や蕨伸ぶ / 飯田蛇笏

水ぐるまひかりやまずよ路の臺 / 木下夕爾

厳しい寒さも少しずつ和らぎはじめ、少し周囲の景色に目を向けると春の訪れを感じさせてくれる情景が目映ります。通勤途中に車窓から見える茶色の山肌も少し新緑がかかってきており、轉りながら空を飛び交う鳥の姿も悠々しく感じます。

私は、日本の素晴らしいところの一つに、温帯特有の「四季の変化」、つまり時の流れを感じさせてくれるこの風景の移り変わりを挙げます。

旧暦で3月は春。では、皆さんは「春」と言えば何を連想しますか？

私は、春といえば、土筆（つくし）・タラの芽・路の臺（ふきのとう）・蕨（わらび）などを連想します。俳句では春を表現する季語としても良く使われていますが、春を代表する旬な食材としても有名です。土筆はごま油で炒めて醤油をつけて、蕨は、湯通ししておすまじやみそ汁の具材に、タラの芽・路の臺は薄く天ぷらにして塩コショウで食べるととても美味しい自然食材です。私にとってどれも好物そのものです。私自身、幼い頃から田舎で育ったものですから、祖父母に散歩に連れられては、川沿いの土手に生える土筆や、近隣の山裾に育つ蕨やタラの芽・路の臺を見つけて持ち帰っていました。その収穫物を祖母や母が料理をし、夕食の食卓に並んでいたのを今でも覚えています。食卓を囲み、一家団樂しながら、視覚・味覚・嗅覚で春を堪能していました。

私にとって連想するもう一つの春は、「新たな出発（門出）」です。新しい仲間との出会い、新たな目標、新たな思い、、、たくさんのことがこの春の季節からスタートします。私にとっては一年を振り返り、「リセットをする春」、「心機一転を図る春」でもあります。何か新鮮で、気持ちに高ぶりを感じさせてくれる貴重な時期とも言えます。そんな時期だからこそエネルギーになれるのだと実感しています。

2022年の「春」がすぐそこまでやって来ています。春の訪れを体全体（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚）で感じながら、また新たなスタートが切れることを願っています。そして巡りゆく季節の節目を感じながら、来年の春には、今年とはまた違った春（出発点）が来ると確信しています。皆さんにとっての「春」もそうであることを心から願っています。

ひらひらと 空舞う桜 春の色

卒業される先輩方へ

第33代生徒会副会長

第31回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

これまで、僕たち在校生のために学校のことや部活動、委員会活動でサポートをしてくださり、ありがとうございました。体育会や文化発表会を通して先輩方から多くのことを学び、経験させていただきました。僕たちは先輩方から学んだことをこれからの学校生活に活かしていきたいと思います。

今年も新型コロナウイルスが猛威を振るう中、行事の延期や修学旅行の行き先変更など様々な苦労があったかと思います。しかし、その中で先輩方のたくましい姿は僕たち在校生の手本となっていました。

今まで西神中学校の最高学年として僕たちを引っ張ってくださり、ありがとうございました。



表彰の記録



○令和3年度第70回神戸市小・中・特別支援学校書初展

金賞 3年生1名 銀賞 3年生1名 2年生1名

銅賞 3年生1名 2年生1名 1年生1名

入選 3年生3名 2年生3名 1年生4名

○第62回近畿中学校美術展 出品

1年生1名

○第21回 神戸っ子アートフェスティバル 出品

3年生4名 2年生3名 1年生3名



本年度の離任式について

3月25日（金）10:30～

（於：本校体育館）

＊コロナ感染状況により変更する場合がありますのでご了承ください。

異動される先生のお知らせについては3月22日に「すぐーる」にてお知らせします。なお、離任者の異動先および着任者につきましては、4月の辞令をもってお知らせいたします。

当日は、本年度卒業生は体育館に入れますが、保護者の方々はじめその他の皆様はグラウンドでの待機とさせていただきます。ご了承ください。



神戸市立西神中学校 校訓「創造 友愛 鍛錬」
豊かな心と自主性を育て、地域に根ざした学校づくり